

ワークショップ等の検討結果まとめ

公共・地域課題	市民意見 (WS、意見交換会)	解決する機能		条件・課題
		市民提案	民間事業者提案	
地域の人材育成拠点の創出	【意見交換会】 ・若い世代ややる気のある人に開かれた、自由でくつろいだ雰囲気のある場 ・親が元気だと子どもも元気、子どもが元気だと親も元気、そんなことを実現する場があればと思います	・多目的スペース		
乳幼児とその親への支援	【第1回WS】 ・東町エリアの保育園の「ないと本当に困る施設」の少なさ(実質2園)の方が重大な問題 ・青少年～幼児の居場所にもなれるように	・一時預かり		【サウンディング】 ・日常の保育を行わず、一時保育のみ行うことは事業採算性がない
小中高生の居場所不足	【第1回WS】 ・青少年～幼児の居場所にもなれるように ・大人だけでなく青少年、子ども達も出入りできる様な場 【第2回WS】 ・小学校高学年から中高校生が来やすい場	・子どものフリースペース ・サロン ・多目的スペース		
孤食の解消	【第1回WS】 ・特に奥様に先立たれた男性を見ていると、必要な栄養をとれる料理を提供してくれる施設 ・子ども食堂 【第3回WS】 ・身近にいた男性の老人(奥様が早くに亡くなり1人で生活していた)が南町のそ～らの家へ食事に行っており、「東町にもテンミليونが是非必要なのだ」の感を強くした	・みんなの食堂、キッチン ・テンミليونハウス	・老人福祉センター	【サウンディング】 ・老人福祉センターの場合、事業運営は自治体か社会福祉法人に限定される。 ・社会福祉法人が運営する場合には、土地を無償で提供し、運営費を市が補てんすることなどが前提となる
多世代交流の促進	【第1回WS】 ・赤ちゃんから高齢者まで喜んでもらえるソフトサービス ・老人向けの施設と子ども(園児?)のための、双方のニーズを満たした多機能、複合化の施設 ・子育て世代も中高生も、一人住まいの高齢者もつながる場所 ・おもちゃ病院の拠点。世代を越えて一緒にいる施設 ・出来るだけ地域の人々が大勢、利用出来る施設にして欲しい。子どもと老人が共に過ごすことの大切さを教えたい。自然に人間の営みを学ぶ様に 【意見交換会】 ・高齢者と子育て世代が一緒に使える場 ・子ども食堂の食事を高齢者が作る、昔遊びを教えるなど、子どもと高齢者の交流ができればいい 【第3回WS】 ・気楽に立ち寄れる多世代交流の場	・大人のプレールーム ・子どものフリースペース ・サロン ・テンミليونハウス ・交流食堂		【意見交換会】 ・高齢者が食事をつくる子ども食堂はすごくいいと思いますが、調理師免許が必要だったり、衛生上の観点からも、設備が整っていないと難しい
気軽な交流の場の不足	【第1回WS】 ・老人が集える場所 ・幼児から高齢者まで、あまり制約のない形で使える(コミュニティセンターのように予約とか時間の制限でなく)ゆったりとした居場所 【第2回WS】 ・健全な高齢者も多いので、そういう人達が自由に集まれる、登録をしなくても来られるもの、児童、生徒も交えて一緒に集えるような、比較的自由な場 ・東町の人、すべてに公平に開かれた場所 ・地元の人々の居場所、集う空間 【意見交換会】 ・高齢者が昼間に集まって懇談できるようなサロン 【第3回WS】 ・地域の若い方々、社会人の方も含めての多目的スペースというか、居場所となるような施設 ・住民が自由に出入り可能なスペースが欲しい	・おしゃべりサロン ・多目的スペース ・サロン ・テンミليونハウス	・地域交流スペース (+看護小規模多機能型介護施設) ・老人福祉センター	【サウンディング】 ・看護小規模多機能型介護施設に、地域交流スペースを設けることは可能 ・看護小規模多機能型介護施設は100坪あれば可能 ・高齢者住宅など他の併設施設がないと事業採算は厳しい ・駐車場はカンタキで3～4台分、訪問看護で最低5台分必要となる(近隣で駐車場を借りる場合は採算が合わない) ・前面道路が狭い ・老人福祉センターの場合、事業運営は自治体か社会福祉法人に限定される。 ・社会福祉法人が運営する場合には、土地を無償で提供し、運営費を市が補てんすることなどが前提となる

ワークショップ等の検討結果まとめ

公共・地域課題	市民意見 (WS、意見交換会)	解決する機能		条件・課題
		市民提案	民間事業者提案	
相談拠点の創出(がん・難病に関わる人への精神的なケア等)	<p>【第1回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に福祉関係の方がいらして、困った時、淋しくて誰かとお話がしたくなった時、お手伝いが必要になった時、相談できる所 ・ガン患者と家族のカウンセリングの場があると良いと思った。心理の専門家を！ ・地域福祉の気持ちの抛り所となる専門施設 <p>【第2回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マギーズ東京」や「暮らしの保健室」の考え方、理念的なものは武蔵野市にはたぶんない。新しい要素を付け加えていく一つとして、考え方として取り入れることが出来れば <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんだけでなく、難病や障害の方も含め、不安に寄り添ってくれる場所、専門職のサポートが得られる場所があるといい ・がんとうまく付き合いながら生きていくことの支援が必要だと感じています。そのために、医療機関とは違う、「泣ける場所」があるといい <p>【第3回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マギーズ東京のように、行ったら心が軽くなるような、そんな場所になることを願っています ・武蔵野市に「暮らしの保健室」が出来る事を望みます 	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの保健室 ・マギーズ東京 		<p>【マギーズ東京視察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海が見える場所でないといけない。 ・運営はすべて寄付金によって賄う。 ・家具は有名デザイナーのものなど一定のレベル以上でないといけない。 <p>【暮らしの保健室視察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業自体の収益性は低く、新宿区からの助成(委託費400万)も十分ではない。 ・他の団体が暮らしの保健室事業を実施する場合は、新宿の暮らしの保健室を1回見学することが条件になる。
在宅介護への支援	<p>【第1回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた我が家で最期まで住み暮らし続けられるように。例えば看護付き小規模多機能施設ができれば良い <p>・現実的な老人向けのショートステイの設備等を付与することも不可欠</p> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイなど、在宅の看護・介護を支える機能がほしい <p>【第3回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしの高齢者が増加しています。高齢になった時、病院に行きたくてもなかなか一人で行けない、相談にも行けない方々を救う、唯一のよりどころとして是非、看多機、暮らしの保健室は作って頂きたい ・困難は承知で看多機に挑戦していただきたい。プラス、フリースペースで看多機にも参考になる活動が生まれると思う ・看多機については、ハードルは高いものの東町には必要である ・規模は別として、看多機施設の設置は必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの保健室 ・看護小規模多機能型居宅介護施設 ・ショートステイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護小規模多機能型介護施設 	<p>【サウンディング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者住宅など他の併設施設がないと事業採算は厳しい ・駐車場はカンタキで3～4台分、訪問看護で最低5台分必要となる(近隣で駐車場を借りる場合は採算が合わない) ・前面道路が狭い
予防介護事業の実施	<p>【第1回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者、元気に活躍できる高齢者の場 ・老人が集える場所 ・トレーニングルーム、老人のためのサロン <p>【第2回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健全な高齢者も多いので、そういう人達が自由に集まれる、登録をしなくても来られるもの、児童、生徒も交えて一緒に集えるような、比較的自由な場 <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が昼間に集まって懇談できるようなサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・テンミリオンハウス ・トレーニングルーム ・サロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター 	<p>【サウンディング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターの場合、事業運営は自治体か社会福祉法人に限定される。 ・社会福祉法人が運営する場合には、土地を無償で提供し、運営費を市が補てんすることなどが前提となる
地域医療の不足	<p>【第3回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療の出張的なのがあると良い ・武蔵野市東町(地区)に医療機関が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所 		

ワークショップ等の検討結果まとめ

公共・地域課題	市民意見 (WS、意見交換会)	解決する機能		条件・課題
		市民提案	民間事業者提案	
その他	<p>【第1回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の行政にない新しい施設 ・松の木がすてきなので、活かしてほしい。公園的な？ ・開放的で敷居の低い施設、空間になる事 ・様々なグループの拠り所 ・時系列的に複数の用途に変更可能な汎用性のある建物(子ども目的→高齢目的) ・全ての人が幸せになれる施設 ・テンミリオンはテンミリオンなりのしびりが強く、できたとしてもそこに収まりきれない要望が残るかもしれない ・台風、防災センター ・数十年後に不要、余剰としないようにすること ・高齢者、子どもだけが利用するのじゃない、平日働く20～40代の若者たちも利用できるようにしたいと強く思います。そして独身の人たちにも <p>【第2回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事帰りに少しホッとできる場所があると良い ・図書館機能、市役所の事務機能(電子化)は必要では <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニマルセラピーを取り入れ、子どもから高齢者まで、地域の人の心身の健康に役立てる ・対象者の制限がなく、予約なしで利用できる施設 <p>【第3回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に自立できる施設 ・武蔵野市らしい独創的な施設 ・武蔵野市東地区におもちゃ病院の拠点を作ってください(西地区にあり)。 			
運営	<p>【第1回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営も市民が担うべき ・本当に必要なものは建物(入れ物)ではなく中の仕組み(人材とシステム)が大事 <p>【第2回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営について深めたい。新しい運営方法を考えたい ・どのような運営が市の財務に適当か、ではなく、どのように運営すれば市民の為になるのが大事 <p>【第3回WS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社協が地域の方々の方々のつながりづくりを目的として、様々な活動を展開していくために、この施設も利用できたらありがたい 			